

阿波市全庁評価シート 令和元年度実施事業対象

PLAN	No.	36	1	基本事務事業名	基本計画に基づく事業	事務事業名	基本計画に基づく事業	公的関与	3	シート作成日	令和2年12月10日	
	部局名	水道部		課名	業務課	主務課長名	岡田 俊治	シート作成者名	杉山 洋			
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業	<input type="radio"/> 3 経常的事務事業	<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援	事業運営方法		<input type="checkbox"/> 1 直営	<input type="checkbox"/> 3 全部委託				
		<input checked="" type="radio"/> 2 ハード事業	<input type="radio"/> 4 施設の維持管理	<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input checked="" type="checkbox"/> 2 一部委託	<input type="checkbox"/> 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)	2. 安全・安心・快適な阿波				実施計画	事業の開始・終了				
		基本計画(施策)	(6)水道・排水処理の充実				<input checked="" type="radio"/> 1 該当	平成 28 年 ~	令和 12 年	<input type="checkbox"/> 期間設定なし		
		主要施策	(1)水道の運営基盤の強化				<input type="radio"/> 2 非該当	根拠法令等	水道法			
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)	市民(上水道加入者)									
		目的(どうい う状態に したいのか)	最終的	配水区域を再編し、施設の簡素化・更新・耐震化、給水拠点までの管路整備を行い、災害時等に給水できる整備を行う。								
			今年度	基本計画に基づく事業を継続して行います。								
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)											
	①	測量設計										
	②	工事発注・監督										
	③											
	④											
	⑤											
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名	計算式又は指標設定理由	単位		平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	最終目標				
	土成送水管関係工事	施工済延長/計画区間延長(6,050m)	%	目標	65%	80%	100%	100%				
				実績	72%	92%						
	小倉高区配水池築造工事	配水池3000t・配水管φ300×660m×2本、配水管φ400×482m	%	目標			31%	100%				
				実績								
	阿讃山麓線関係工事	配水管9,837m	%	目標	5%	19%	34%	100%				
実績				5%	19%							
予算費目	会 計	款	項	目	備考							
DO	直接事業費	国庫支出金	千円	千円	千円							
		県支出金	千円	千円	千円							
		地方債	28,300 千円	96,300 千円	182,000 千円							
		その他特定財源	29,600 千円	100,900 千円	182,000 千円							
		一般財源	1,522 千円	4,079 千円	千円							
		計(A)	59,422 千円	201,279 千円	364,000 千円							
		人件費(B)	正職員工数・経費	2.500 人	14,513 千円	2.500 人	15,094 千円	2.000 人	12,235 千円			
	臨時・嘱託職種											
	臨時・嘱託工数・経費		人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円				
	全体事業費(A+B)		73,935 千円		216,373 千円		376,235 千円					

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	<input type="radio"/>	少ない	<input checked="" type="radio"/>	大きい	給水区域の見直し、施設の効率化等、生活の維持に必要な不可欠な水道の安定供給するため必要であります。	<input type="radio"/>	少ない	<input checked="" type="radio"/>	大きい			
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	<input type="radio"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある		<input type="radio"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある			
	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない			
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	<input type="radio"/>	いる	<input checked="" type="radio"/>	いない		<input type="radio"/>	いる	<input checked="" type="radio"/>	いない			
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる	給水区域の見直し、施設の簡素化等を行うことにより、維持管理や災害時等に有効であります。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる			
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる		<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる			
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	<input type="radio"/>	する	<input checked="" type="radio"/>	しない		<input type="radio"/>	する	<input checked="" type="radio"/>	しない			
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="radio"/>	できない	<input checked="" type="radio"/>	できる		<input type="radio"/>	できない	<input checked="" type="radio"/>	できる			
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている	目標設定に対して概ね達成していると思います。しかし、県等、関係機関との協議等により繰越しとなることがあります。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている							
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	<input type="radio"/>	あまり上がっていない		<input type="radio"/>	あまり上がっていない							
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	<input type="radio"/>	概ね達成している		<input type="radio"/>	概ね達成している							
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	<input checked="" type="radio"/>	十分達成している		<input checked="" type="radio"/>	十分達成している							
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	<input type="radio"/>	高い	<input checked="" type="radio"/>	適当	県工事や建設課の整備計画に合わせて行うことにより、施工性及び経済性の面で有利となりコスト削減が見込めます。	<input type="radio"/>	高い	<input checked="" type="radio"/>	適当			
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	<input type="radio"/>	できる	<input checked="" type="radio"/>	できない		<input type="radio"/>	できる	<input checked="" type="radio"/>	できない			
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない			
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない			
ACTION	一次評価					二次評価							
	評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
		4	4	4	4	A	4	4	4	4	A		
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等			
		<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止			<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止				
当面の課題	県・建設課など、他工事との調整をしながら、効率よく事業を推進していきます。資材等の高騰による事業費の増加が見込まれます。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点							
改革案と実行計画	事業計画を実行するため、県・建設課と協議をしながら事業が早期に完了する様に推進していきます。使用する資材や工法等を検討し、コストを削減します。					県・建設課と工事計画についての協議等を十分に行い、基本計画に基づく施設整備や給水拠点までの管路整備などの事業を早期に完了する様に推進していきます。							
委員会指摘事項													

阿波市全庁評価シート 令和元年度実施事業対象

PLAN	No.	36	基本事務事業名	老朽管布設替等事業		事務事業名	老朽管布設替等事業		公的関与	3	シート作成日	令和2年12月10日			
	部局名	水道部		課名	業務課		主務課長名	岡田 俊治		シート作成者名	杉山 洋				
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託				
		<input checked="" type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input checked="" type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)	2. 安全・安心・快適な阿波				実施計画		事業の開始・終了						
		基本計画(施策)	(6)水道・排水処理の充実				<input checked="" type="radio"/> 1 該当		平成	年	～	令和	年	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし	
		主要施策	(1)水道の運営基盤の強化				<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等		水道法				
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)	市民(上水道加入者)												
		目的(どうい う状態にし たいのか)	最終的	老朽管の布設替工事及び基幹管路においては、耐震管布設替工事を行うとともに、有収率の向上に努めます。											
			今年度	継続して、老朽管等の布設替工事を行います。											
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① 測量設計														
	② 工事発注・監督														
	③ 漏水調査														
	④														
	⑤														
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	最終目標					
	老朽化率	老朽管／水道管全延長		%	目標		18%	18%	18%	0%					
						実績	25%	26%							
	有収率	有収水量／配水量		%	目標		72%	72%	72%	80%					
						実績	70%	69%							
	耐震化率	耐震管／基幹管路		%	目標		31%	32%	33%	100%					
実績						31%	32%								
予算費目	会 計	款				項	目		備考						
DO	直接事業費	平成 30 年度決算		令和 元 年度決算		令和 2 年度予算		備考							
		国庫支出金	千円		千円		千円								
		県支出金	千円		千円		千円								
		地方債	28,900 千円		22,100 千円		57,000 千円								
		その他特定財源	千円		千円		千円								
		一般財源	2,736 千円		13,052 千円		千円								
		計(A)	31,636 千円		35,152 千円		57,000 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	2,000 人	11,610 千円		2,000 人	12,075 千円		2,000 人	12,235 千円					
		臨時・嘱託職種													
		臨時・嘱託工数・経費	人	0 千円		人	0 千円		人	0 千円					
全体事業費(A+B)		43,246 千円		47,227 千円		69,235 千円									

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	<input type="radio"/>	少ない	<input checked="" type="radio"/>	大きい	老朽管延長が長いと、漏水が発生しやすく、有収率が悪くなります。また、漏水により事故が発生する恐れもあり、供給単価が低くなり、経営が悪化します。	<input type="radio"/>	少ない	<input checked="" type="radio"/>	大きい			
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	<input type="radio"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある		<input type="radio"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある			
	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない			
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	<input type="radio"/>	いる	<input checked="" type="radio"/>	いない		<input type="radio"/>	いる	<input checked="" type="radio"/>	いない			
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	<input type="radio"/>	いえ	<input checked="" type="radio"/>	い	老朽管を布設替することにより、漏水を未然に防ぐことができます。	<input type="radio"/>	いえ	<input checked="" type="radio"/>	い			
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	<input type="radio"/>	いえ	<input checked="" type="radio"/>	い		<input type="radio"/>	いえ	<input checked="" type="radio"/>	い			
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	<input type="radio"/>	する	<input checked="" type="radio"/>	しない		<input type="radio"/>	する	<input checked="" type="radio"/>	しない			
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="radio"/>	できない	<input checked="" type="radio"/>	できる		<input type="radio"/>	できない	<input checked="" type="radio"/>	できる			
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている	目標設定に対して概ね達成していると思います。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている							
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	<input type="radio"/>	あまり上がっていない		<input type="radio"/>	あまり上がっていない							
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	<input checked="" type="radio"/>	概ね達成している		<input checked="" type="radio"/>	概ね達成している							
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	<input type="radio"/>	十分達成している		<input type="radio"/>	十分達成している							
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	<input type="radio"/>	高い	<input checked="" type="radio"/>	適当	老朽化の進んでいる管から布設替することにより、効率性が上がります。	<input type="radio"/>	高い	<input checked="" type="radio"/>	適当			
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	<input type="radio"/>	できる	<input checked="" type="radio"/>	できない		<input type="radio"/>	できる	<input checked="" type="radio"/>	できない			
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない			
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない			
ACTION	一次評価					二次評価							
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 4	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 4	総合評価 A		
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等			
	当面の課題	老朽化の進んでいる管の把握。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点						
	改革案と実行計画	事業計画を実行するため、老朽化の進んでいる管を管路図面から調査するとともに、漏水修理の状況も勘案しながら事業を進める。					老朽管を把握し、計画的な布設替等に努め、有収率が向上するように進めています。						
委員会指摘事項													

阿波市全庁評価シート 令和元年度実施事業対象

PLAN	No.	36	基本事務事業名	農業集落排水事業管理・徴収	事務事業名	農業集落排水事業管理・徴収	公的関与	6	シート作成日	令和2年7月27日						
	部局名	水道部		課名	業務課		主務課長名	岡田 俊治		シート作成者名	尾崎 啓蔵					
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託					
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input checked="" type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等					
	総合計画	基本構想(政策)		2. 安全・安心・快適な阿波				実施計画		事業の開始・終了						
		基本計画(施策)		(6)水道・排水処理の充実				<input checked="" type="radio"/> 1 該当		平成 17 年 ~ 令和 年		<input type="checkbox"/> 期間設定なし				
		主要施策		(7)汚水処理施設の適正管理				<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等		農業集落排水施設設置及び管理に関する条例				
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)		農業集落排水供用区域(一条西地区・柿原東地区)・農業集落排水施設利用者												
		目的(どうい う状態にし たいのか)	最終的	農業集落排水使用料100%を目指します。												
			今年度	使用料滞納者に対して督促、徴収を行い未収納額を減らします。												
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)															
	① 余剰汚泥の引き抜きを削減に努めます。															
	② 口座振替の普及を促進します。															
	③ 督促状、催告書による通知で納付を促すとともに、各戸に訪問し徴収率の向上に努めます。															
	④															
	⑤															
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	最終目標						
	農業集落排水施設t利用者	農業集落排水施設使用料 収納率(現年度)	目標				100	100	100	100						
			実績				98.4	99.1								
	農業集落排水施設t利用者	農業集落排水施設使用料 収納率(過年度)	目標				100	100	100	100						
			実績				19.1	37.3								
			目標													
		実績														
DO	予算費目	会 計	農業集落排水事業特別会計				款	2	事業費	項	1	施設管理費	目		備考	
	直接事業費	平成 30 年度決算		令和 元 年度決算		令和 2 年度予算										
		国庫支出金	千円		千円		千円									
		県支出金	千円		千円		千円									
		地方債	千円		千円		千円									
		その他特定財源	千円		千円		千円									
		一般財源	38,785 千円		40,176 千円		40,926 千円									
	計(A)	38,785 千円		40,176 千円		40,926 千円										
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.700 人	4,064 千円		0.700 人	4,226 千円		0.700 人	4,282 千円						
		臨時・嘱託職種														
臨時・嘱託工数・経費		人	0 千円		人	0 千円		人	0 千円							
全体事業費(A+B)		42,849 千円		44,402 千円		45,208 千円										

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明				二次評価	
KGMIC	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	<input type="radio"/>	少ない	<input checked="" type="radio"/>	大きい	施設の維持管理業者と汚泥抜き取り業者が同一であるため、余分な汚泥の抜き取りがないか確認しています。施設の管理運営費に分担金と使用料を充てているため、使用料を徴収することは必要です。	<input type="radio"/>	少ない	<input checked="" type="radio"/>	大きい			
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	<input type="radio"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある		<input type="radio"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある			
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	<input checked="" type="radio"/>	ある	<input type="radio"/>	ない		<input checked="" type="radio"/>	ある	<input type="radio"/>	ない			
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	<input type="radio"/>	いる	<input checked="" type="radio"/>	いない		<input type="radio"/>	いる	<input checked="" type="radio"/>	いない			
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる	口座振替を推奨しており、現在9割以上の方が口座振替で使用料を支払っているため、収納率95%以上を保っています。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる			
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる		<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる			
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	<input type="radio"/>	する	<input checked="" type="radio"/>	しない		<input type="radio"/>	する	<input checked="" type="radio"/>	しない			
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="radio"/>	できない	<input checked="" type="radio"/>	できる		<input type="radio"/>	できない	<input checked="" type="radio"/>	できる			
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている	余剰汚泥の経費の削減に努めています。更に、単価や回数を減らしてコスト削減を考えています。現年度は、収納率が目標に近づいています。過年度については、高額滞納者が多いので個別に対応策を考えています。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている							
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	<input type="radio"/>	あまり上がっていない		<input type="radio"/>	あまり上がっていない							
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	<input checked="" type="radio"/>	概ね達成している		<input checked="" type="radio"/>	概ね達成している							
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	<input type="radio"/>	十分達成している		<input type="radio"/>	十分達成している							
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	<input checked="" type="radio"/>	高い	<input type="radio"/>	適当	使用開始以降、使用料が同じで効果に比べコストは高くなっており、将来的には料金改定を含め視野にいれて考えております。個別訪問徴収だけでは効率的に徴収できないので、施設の使用制限等の方法を用いて、収納率を向上させたいと考えています。	<input checked="" type="radio"/>	高い	<input type="radio"/>	適当			
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	<input checked="" type="radio"/>	できる	<input type="radio"/>	できない		<input checked="" type="radio"/>	できる	<input type="radio"/>	できない			
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない			
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない			
ACTION	一次評価					二次評価								
	評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価			
		3	4	3	2	B	3	4	3	2	B			
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等				
		<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止			<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止					
	当面の課題	機械類が老朽化して維持管理にコストがかかっており、随時更新が必要になります。少額滞納者に対しては、督促状や催告書による通知で納めてもらえますが、高額滞納者に対しては、個別に対策を講じる必要があります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点							
改革案と実行計画	老朽化した機器類を保守点検で長持ちさせるとともに、大きな故障が発生する前に機器類を更新します。あまりも滞納者が高額あるいは悪質な滞納者に対しては、施設使用の制限をかける等の方法を考える必要があります。また、マンション等の賃貸物件については、共益費として管理会社に使用料を徴収してもらうようお願いしてまいります。					目標収納率が達成できるよう、口座振替の推奨及び過年度分の収納率向上に取り組みます。								
委員会指摘事項														

阿波市全庁評価シート 令和元年度実施事業対象

PLAN	No.	36	4	基本事務事業名	農業集落排水事業工事	事務事業名	農業集落排水事業工事	公的関与	6	シート作成日	令和2年7月27日				
	部局名	水道部		課名	業務課	主務課長名	岡田 俊治		シート作成者名	尾崎 啓蔵					
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input checked="" type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託				
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input checked="" type="checkbox"/> 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		2. 安全・安心・快適な阿波				実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(6)水道・排水処理の充実				<input checked="" type="radio"/> 1 該当		平成 17 年 ~		令和 年	<input type="checkbox"/> 期間設定なし		
		主要施策		(7)汚水処理施設の適正管理				<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等		農業集落排水施設設置及び管理に関する条例			
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		農業集落排水供用区域(柿原東地区)											
		目的(どうい う状態に したいのか)	最終的	適切な施設管理を行いながら処理水の改善及び地震等への減災機能強化を図る。											
			今年度	管渠を再整備することにより不明水を低減し、処理施設への流入を安定させる。 また、施設から排水される汚泥の量を抑えながら、処理水の水質保全を行います。											
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① 管路改良、マンホール補修工事を実施し、不明水の低減を努めています。														
	② 施設の適正な施設管理を行い汚泥負荷量を安定させます。														
	③ 施設から排出される処理水の水質を安定させます。														
	④														
	⑤														
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	最終目標					
	BOD汚泥負荷		曝気槽の単位MLSS当たり、 1日に処理されるBOD量		kg/m ³ ・ 日	目標	8	8	/		8				
							実績	12				9			
						目標			/						
							実績								
						目標			/						
実績															
					目標			/							
						実績									
DO	予算費目	会 計	農業集落排水事業特別会計				款	2	事業費	項	2	施設整備費	目	1	施設整備費
	直接事業費			平成	30	年度決算	令和	元	年度決算	令和	2	年度予算	備考		
		国庫支出金				14,250 千円			24,250 千円			千円			
		県支出金				千円			千円			千円			
		地方債				13,500 千円			26,800 千円			千円			
		その他特定財源				千円			千円			千円			
		一般財源				2,435 千円			4,466 千円			千円			
	計(A)				30,185 千円			55,516 千円			0 千円				
	人件費(B)	正職員工数・経費		0.500 人	2,903 千円		0.500 人	3,019 千円		人	0 千円				
		臨時・嘱託職種													
臨時・嘱託工数・経費		人	0 千円		人	0 千円		人	0 千円						
全体事業費(A+B)				33,088 千円			58,535 千円			0 千円					

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	<input type="radio"/>	少ない	<input checked="" type="radio"/>	大きい	管渠や施設が老朽化しており不明水の流入が増えてきている為、ポンプや機器類等に負担がかかっており更新が必要である。	<input type="radio"/>	少ない	<input checked="" type="radio"/>	大きい			
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	<input type="radio"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある		<input type="radio"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある			
	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	<input checked="" type="radio"/>	ある	<input type="radio"/>	ない		<input checked="" type="radio"/>	ある	<input type="radio"/>	ない			
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	<input type="radio"/>	いる	<input checked="" type="radio"/>	いない		<input type="radio"/>	いる	<input checked="" type="radio"/>	いない			
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる	汚泥と放流水を確認することで、汚泥の水分量、水質保全が出来ています。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる			
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる		<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる			
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	<input type="radio"/>	する	<input checked="" type="radio"/>	しない		<input type="radio"/>	する	<input checked="" type="radio"/>	しない			
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="radio"/>	できない	<input checked="" type="radio"/>	できる		<input type="radio"/>	できない	<input checked="" type="radio"/>	できる			
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている	BODの汚泥負荷は目標まで到達していませんが、安定はしています。また、水質はとも良い状態で環境に影響しないレベルを保っています。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている							
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	<input type="radio"/>	あまり上がっていない		<input type="radio"/>	あまり上がっていない							
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	<input checked="" type="radio"/>	概ね達成している		<input checked="" type="radio"/>	概ね達成している							
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	<input type="radio"/>	十分達成している		<input type="radio"/>	十分達成している							
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	<input checked="" type="radio"/>	高い	<input type="radio"/>	適当	処理水を適正に行っているが一条西処理施設より規模が小さいにも関わらず同じ効果で比べるとコストは高くなっています。管路・施設を整備し流入を安定させ、水質の改善を図り、更に、水環境をよくすることに努めたいと考えています。	<input checked="" type="radio"/>	高い	<input type="radio"/>	適当			
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	<input checked="" type="radio"/>	できる	<input type="radio"/>	できない		<input checked="" type="radio"/>	できる	<input type="radio"/>	できない			
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない			
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない			
ACTION	一次評価					二次評価							
	評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
		3	4	3	2	B	3	4	3	2	B		
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等			
		<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止			<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止				
当面の課題	機器類が複雑で維持管理にコストがかかっています。また、経年劣化等で機器類が老朽化しており随時更新が必要になります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点							
改革案と実行計画	補助金や起債を活用して老朽化した管路や機器類等の更新を図り、地震等が起きても機能強化を図り減災に努めます。また、BOD値を目標達成できるように努めていきます。					管渠や施設が老朽化しており、設備の更新を含む計画的な維持管理により施設の長寿命化を図ります。							
委員会指摘事項													

阿波市全庁評価シート 令和元年度実施事業対象

PLAN	No.	36	5	基本事務事業名	飲料水供給施設事業	事務事業名	飲料水供給施設事業	公的関与	1	シート作成日	令和3年1月27日			
	部局名	水道部		課名	業務課		主務課長名	岡田 俊治		シート作成者名	古谷 昌寛			
	事業区分	<input checked="" type="radio"/> 1 ソフト事業	<input type="radio"/> 3 経常的事務事業	<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援	事業運営方法		<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営	<input type="checkbox"/> 3 全部委託						
		<input type="radio"/> 2 ハード事業	<input type="radio"/> 4 施設の維持管理	<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input checked="" type="checkbox"/> 2 一部委託	<input checked="" type="checkbox"/> 4 補助等						
	総合計画	基本構想(政策)	2. 安全・安心・快適な阿波				実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)	(6)水道・排水処理の充実				<input checked="" type="radio"/> 1 該当		平成	年	～	令和	年	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし
		主要施策	(2)安心・快適な給水の確保				<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等		飲料水供給施設の設置及び管理に関する条例			
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)	市内飲料水供給施設(6地区)に属する地区住民と水道未普及地域住民											
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	安全でおいしい水の安定供給 水道未普及地域の解消										
			今年度	伊沢谷飲料水供給施設更新工事実施(R2.9～R3.10) 上記を除く他の5施設は、必要に応じて修繕を行います。										
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)													
	① 施設の維持管理													
	② 請負業者に対する指示及び監督、監理業務受託者との調整(伊沢谷)													
	③ 非常における給水作業													
	④ 指定管理者との連絡業務													
	⑤ 水道未普及地域における現地調査・施設整備(補助)等													
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	最終目標					
	施設点検回数	取水・送水施設(ポンプ設備等)運転状況確認		回	目標	30	30	50						
					実績	30	30							
	伊沢谷飲料水供給施設更新工事	協議回数		回	目標			14						
					実績									
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	9	飲料水供給施設費
	直接事業費			平成 30 年度決算	令和 元 年度決算	令和 2 年度予算		備考						
		国庫支出金			千円	千円	千円	機構改革により令和2年度から、これまで水道課と環境衛生課それぞれが受け持つ事業が業務課に統合された。(元年度決算は、便宜上、合算した数値となっています。)						
		県支出金			千円	千円	千円							
		地方債			千円	千円	58,400 千円							
		その他特定財源			千円	千円	千円							
		一般財源	858 千円	22,259 千円	49,786 千円									
	計(A)	858 千円	22,259 千円	108,186 千円										
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.160 人	929 千円	1,300 人	7,849 千円	1,500 人	9,176 千円						
		臨時・嘱託職種												
臨時・嘱託工数・経費		人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円							
全体事業費(A+B)		1,787 千円		30,108 千円		117,362 千円								

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
KCMIC	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい	安定して供給する水の必要性は極めて高くなっています。	<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい		
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある		<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある		
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない		<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない		
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	指定管理を行う地元組合では、給水戸数減少や高齢化により施設の維持管理が困難となっています。また、山間地であるため常に危険が伴います。	<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる		
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる		<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる		
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない		<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない		
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる		<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる		
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている	継続して事業を推進します。	<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている				
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					<input type="radio"/> あまり上がっていない		<input type="radio"/> あまり上がっていない				
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している		<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している				
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					<input type="radio"/> 十分達成している		<input type="radio"/> 十分達成している				
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					<input checked="" type="radio"/> 高い	<input type="radio"/> 適当	費用対効果の考えは適正ではありません。	<input checked="" type="radio"/> 高い	<input type="radio"/> 適当		
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない		<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない		
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		
ACTION	一次評価					二次評価							
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 3	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 3	総合評価 A		
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等			
	当面の課題	集落の過疎高齢化、施設老朽化等により管理運営は困難。小規模水道施設等整備事業の管理及び助言。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点						
	改革案と実行計画	引き続き、安心安全な水の安定供給に努めます。					限界集落ということもあって、加入戸数の減少などで施設の維持管理が難しくなっていますが、生活に欠かすことができない事業であります。						
	委員会指摘事項												